

# MHAM米国好配当株式ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし(愛称：ゴールドルーキー)

追加型投信／海外／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年3月23日～2022年9月22日

第103期	決算日：2022年4月22日
第104期	決算日：2022年5月23日
第105期	決算日：2022年6月22日
第106期	決算日：2022年7月22日
第107期	決算日：2022年8月22日
第108期	決算日：2022年9月22日

為替ヘッジあり

第108期末 (2022年9月22日)	基準価額	9,683円
	純資産総額	1,128百万円
第103期～ 第108期	騰落率	△11.3%
	分配金合計	90円

為替ヘッジなし

第108期末 (2022年9月22日)	基準価額	11,389円
	純資産総額	9,893百万円
第103期～ 第108期	騰落率	7.6%
	分配金合計	1,150円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

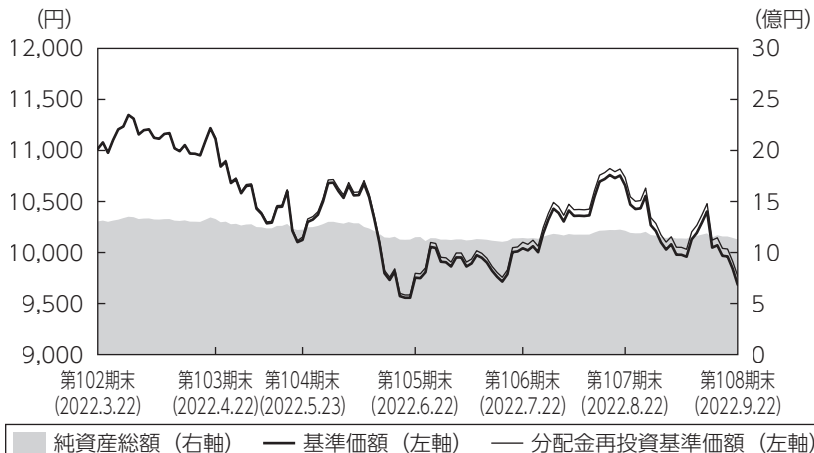
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり

#### 基準価額等の推移



第103期首： 11,016円  
 第108期末： 9,683円  
 (既払分配金90円)  
 騰落率： △11.3%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

#### 基準価額の主な変動要因

米国好配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて主として米国企業の株式に投資し、為替ヘッジを行いました。作成対象期間中の米国株式市場は、インフレが高進する中、中央銀行の金融引締めとそれによる景気後退懸念を背景に、おおむね下落基調が続き、基準価額にマイナスに影響しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第103期～第108期		項目の概要
	(2022年3月23日 ～2022年9月22日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	101円	0.970%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,385円です。
(投信会社)	( 52)	(0.499)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 46)	(0.444)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 0)	(0.004)	
(投資証券)	( 0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.010)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 1)	(0.005)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	103	0.991	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

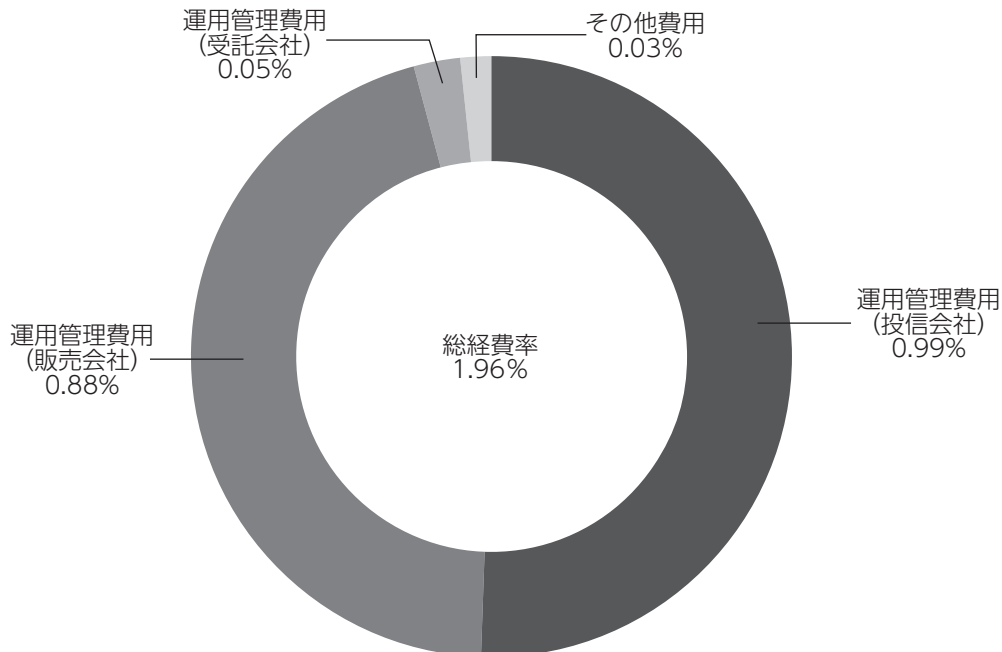
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**（参考情報）**

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.96%です。



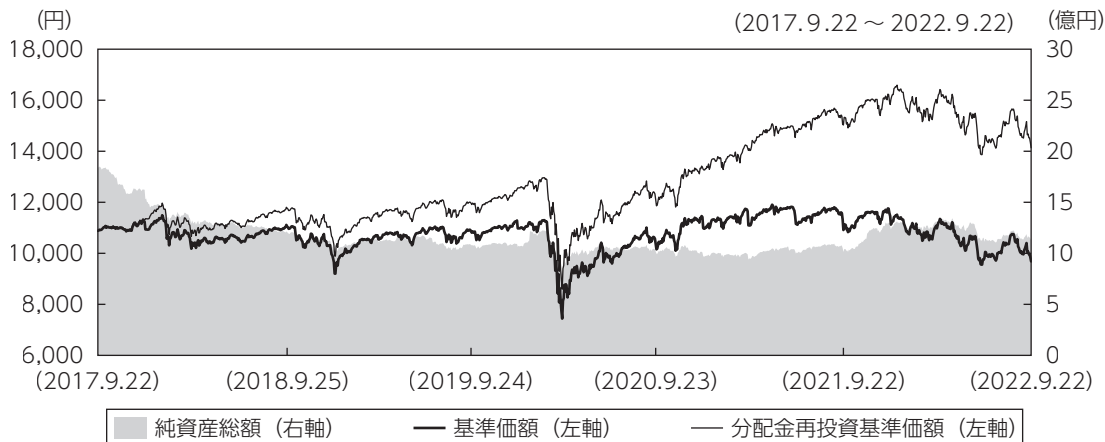
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



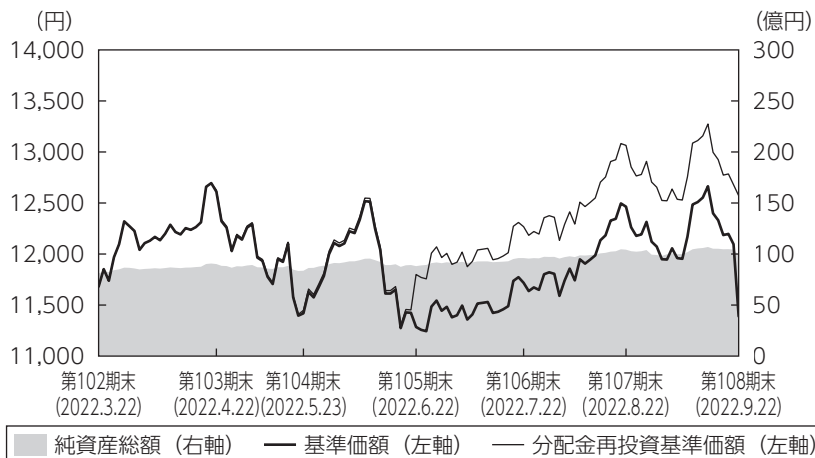
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年9月22日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年9月22日 期首	2018年9月25日 決算日	2019年9月24日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月22日 決算日	2022年9月22日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,880	11,051	10,857	10,370	10,913	9,683
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	690	360	615	1,860	650
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	8.2	1.7	1.2	24.1	△5.9
参考指数の騰落率 (%)	—	16.2	1.4	11.1	32.4	△14.3
純資産総額 (百万円)	1,837	1,207	1,082	1,017	1,013	1,128

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はS & P 500指数 (税引後配当込み、円ヘッジベース) です。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮してS & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の前営業日の値を用い、当社が独自に算出したヘッジ指数を反映しています (以下同じ)。

## ■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなし

## ■ 基準価額等の推移



第103期首： 11,681円  
 第108期末： 11,389円  
 (既払分配金1,150円)  
 騰落率： 7.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

米国好配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて主として米国企業の株式に投資しました。作成対象期間中の米国株式市場は、インフレが高進する中、中央銀行の金融引締めとそれによる景気後退懸念を背景に、おおむね下落基調が続き、基準価額にマイナスに影響しました。為替は、米国の金利が上昇する中、対円でドル高が進み、プラスに寄与しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第103期～第108期		項目の概要
	(2022年3月23日 ～2022年9月22日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	116円	0.970%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,944円です。
(投信会社)	( 60)	(0.499)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 53)	(0.444)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 1)	(0.004)	
(投資証券)	( 0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.012	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.010)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	118	0.987	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

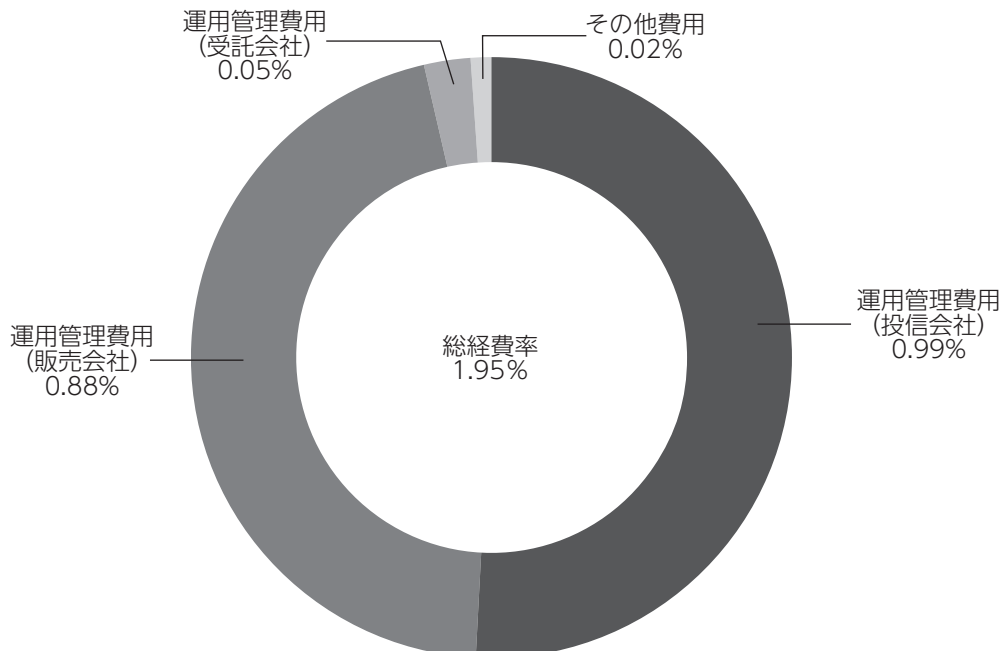
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**（参考情報）**

## ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

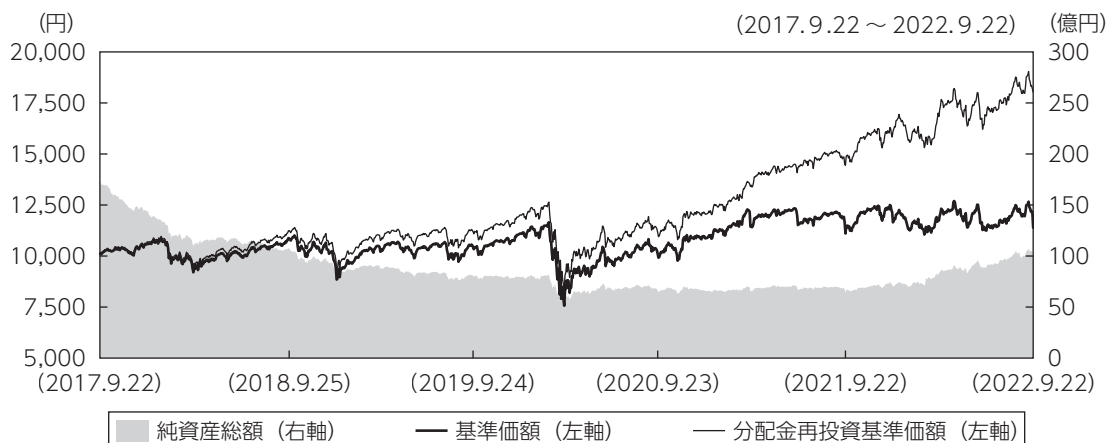
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年9月22日の基準価額に合わせて指数化しています。

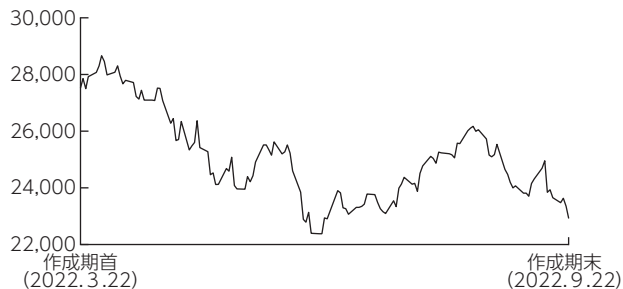
		2017年9月22日 期首	2018年9月25日 決算日	2019年9月24日 決算日	2020年9月23日 決算日	2021年9月22日 決算日	2022年9月22日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,104	10,859	10,433	10,095	11,105	11,389
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	360	360	285	1,910	2,320
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	11.3	△0.5	△0.5	29.6	24.9
参考指数の騰落率	(%)	—	19.2	△1.0	9.7	37.9	16.4
純資産総額	(百万円)	17,169	10,721	8,050	6,612	6,400	9,893

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はS & P 500指数 (税引後配当込み、円換算ベース) です。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮してS & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の前営業日の値を用い、当社が独自に当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しています (以下同じ)。

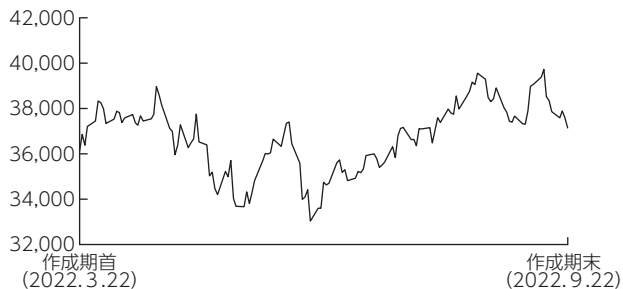
■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

投資環境

< S & P 500指数（税引後配当込み、円ヘッジベース）の推移 >



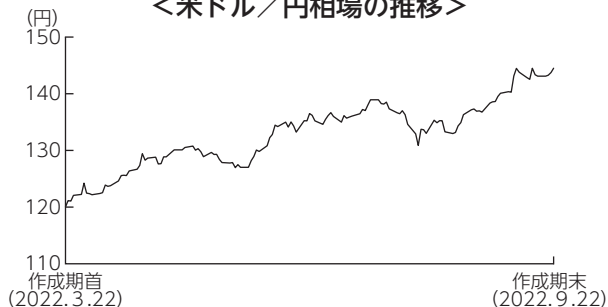
< S & P 500指数（税引後配当込み、円換算ベース）の推移 >



< 株式市場 >

米国株式市場は下落しました。インフレが高進する中、中央銀行の金融引締めとそれによる景気後退懸念を背景に、株式市場はおおむね下落基調が続きました。

< 米ドル／円相場の推移 >



< 為替市場 >

米ドルは対円で上昇しました。米国の金利が上昇する中、対円でドル高が進みました。

## ポートフォリオについて

- MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり  
米国好配当株式マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、引き続き為替ヘッジを行いました。
- MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなし  
米国好配当株式マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。なお実質外貨建資産に対しては、為替ヘッジを行いませんでした。
- 米国好配当株式マザーファンド  
財務内容が健全で、安定的なキャッシュフローがあり、長期的に差別化できる事業基盤を持つ銘柄への投資を継続しました。

### 〔上位10業種組入比率〕

2022年9月22日現在

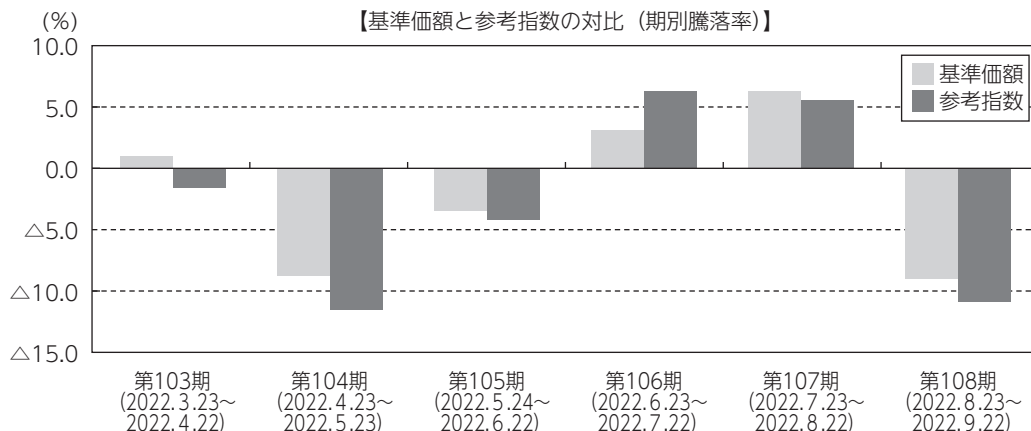
順位	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	11.3%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.8
3	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.1
4	資本財	6.7
5	公益事業	6.3
6	銀行	5.8
7	ヘルスケア機器・サービス	5.2
8	エネルギー	5.1
9	不動産	4.9
10	素材	4.1

(注) 比率は、米国好配当株式マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり

### ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

### ■ 分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2022年3月23日 ~2022年4月22日	2022年4月23日 ~2022年5月23日	2022年5月24日 ~2022年6月22日	2022年6月23日 ~2022年7月22日	2022年7月23日 ~2022年8月22日	2022年8月23日 ~2022年9月22日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.13%	0.15%	0.15%	0.15%	0.14%	0.15%
当期の収益	15円	0円	0円	15円	15円	-円
当期の収益以外	-円	14円	14円	-円	-円	15円
翌期繰越分配対象額	1,642円	1,627円	1,612円	1,614円	1,617円	1,603円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

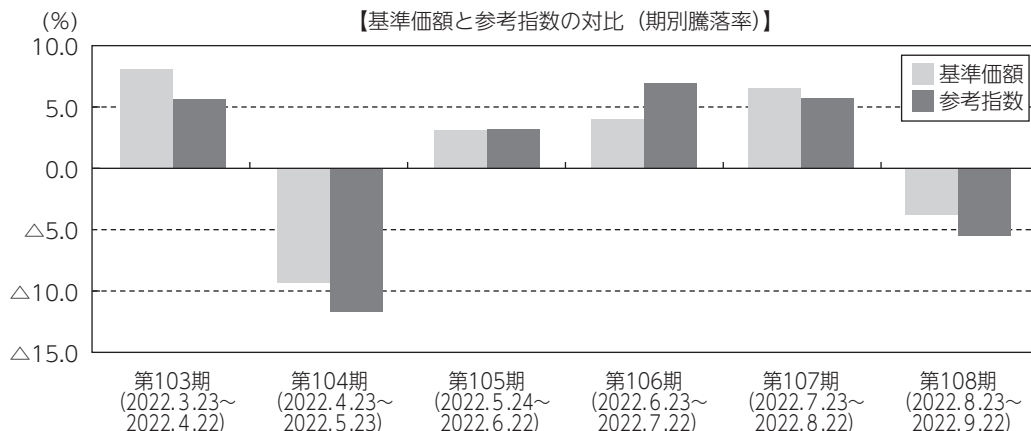
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなし

### ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

### ■ 分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2022年3月23日 ~2022年4月22日	2022年4月23日 ~2022年5月23日	2022年5月24日 ~2022年6月22日	2022年6月23日 ~2022年7月22日	2022年7月23日 ~2022年8月22日	2022年8月23日 ~2022年9月22日
当期分配金（税引前）	15円	15円	485円	15円	15円	605円
対基準価額比率	0.12%	0.13%	4.12%	0.13%	0.12%	5.04%
当期の収益	15円	0円	18円	15円	15円	-円
当期の収益以外	-円	14円	466円	-円	-円	605円
翌期繰越分配対象額	3,223円	3,209円	2,743円	2,748円	3,194円	2,590円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

- MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり  
米国好配当株式マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、引き続き為替ヘッジを行う方針です。
- MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなし  
米国好配当株式マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。なお実質外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行いません。
- 米国好配当株式マザーファンド  
今後の運用に際しては、ボトムアップの銘柄選択に注力します。引き続き、クオリティ重視の投資姿勢を維持することが重要と考え、財務内容が健全で、安定的なキャッシュフローがあり、長期的に差別化できる事業基盤を持つ企業への投資を重視します。

## お知らせ

### 約款変更のお知らせ

■信託期間を延長し、償還日を2028年9月25日とする変更を行いました。

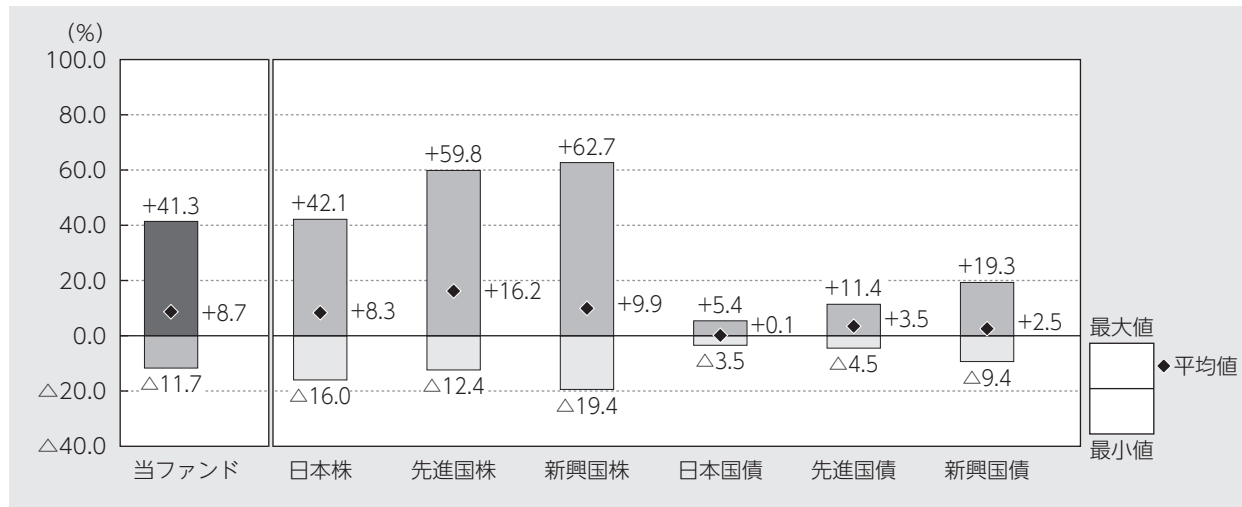
(2022年6月23日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年9月26日から2028年9月25日までです。	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	MHAM米国好配当株式 ファンド（毎月決算型） 為替ヘッジあり／ 為替ヘッジなし	米国好配当株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国好配当株式 マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とします。また、普通株式以外に、米国の金融商品取引所に上場している優先株式、REIT（優先REITを含みます。）およびMLP等にも投資する場合があります。
運用方法	<p>投資銘柄の選定にあたっては、配当利回りのほか、ファンダメンタルズ分析による収益・配当成長予測等を勘案して銘柄を選別し、投資を行います。</p> <p>株式等の組入比率は、高位を保つことを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産について、「為替ヘッジあり」は原則為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図り、「為替ヘッジなし」については原則為替ヘッジを行いません。</p> <p>マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部（有価証券等の運用の指図に関する権限）をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピーに委託します。</p>	
分配方針	<p>第4期以降、原則として毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

### ■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり



2017年9月～2022年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

#### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

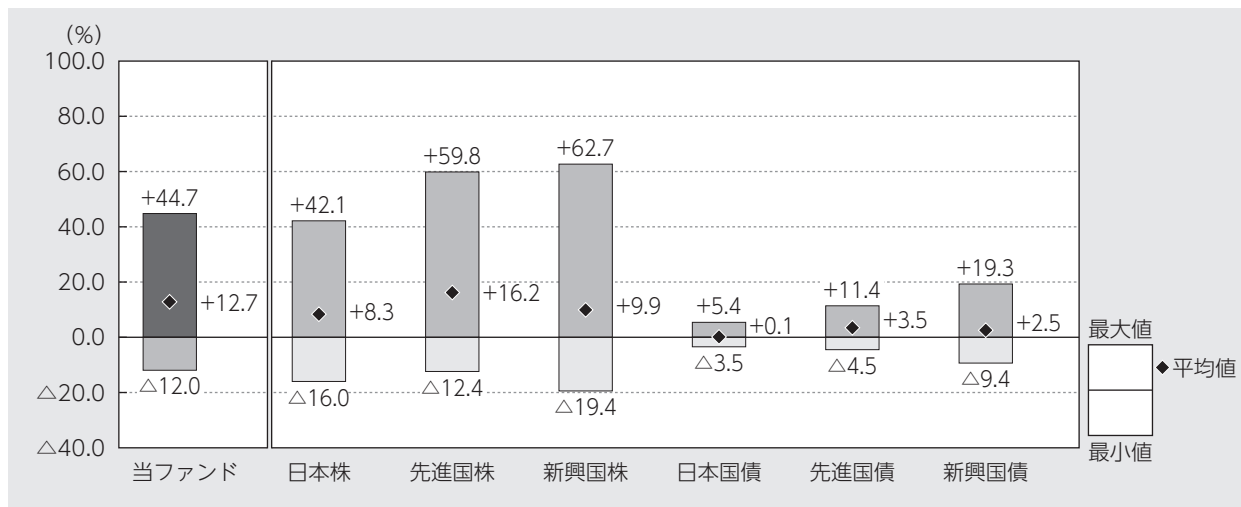
新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。



## ■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなし



2017年9月～2022年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

\*各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### ■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり

#### 当ファンドの組入資産の内容（2022年9月22日現在）

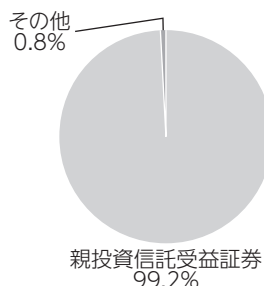
◆組入ファンド等（組入ファンド数：1ファンド）

	第108期末
	2022年9月22日
米国好配当株式マザーファンド	99.2%
その他	0.8

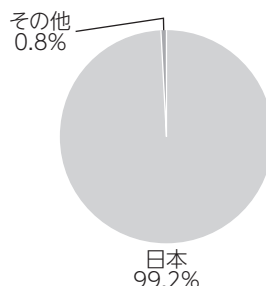
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

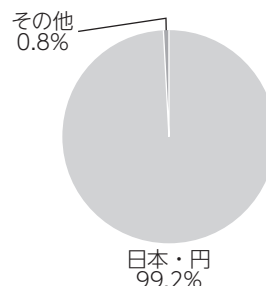
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）当ファンドでは、実質組入外貨建資産に対して、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## 純資産等

項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2022年4月22日	2022年5月23日	2022年6月22日	2022年7月22日	2022年8月22日	2022年9月22日
純資産総額	1,328,548,648円	1,224,619,858円	1,150,039,420円	1,142,343,675円	1,213,469,007円	1,128,173,219円
受益権総口数	1,195,641,696口	1,209,609,648口	1,179,104,195口	1,137,603,000口	1,138,663,314口	1,165,068,325口
1万口当たり基準価額	11,112円	10,124円	9,754円	10,042円	10,657円	9,683円

（注）当作成期間（第103期～第108期）中における追加設定元本額は112,623,863円、同解約元本額は132,157,304円です。

## ■ MHAM米国好配当株式ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなし

### 当ファンドの組入資産の内容（2022年9月22日現在）

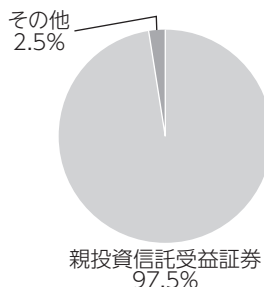
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第108期末
	2022年9月22日
米国好配当株式マザーファンド	97.5%
その他	2.5

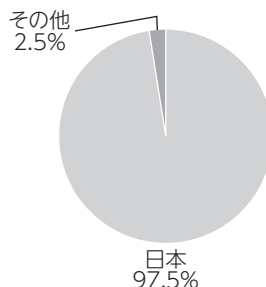
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

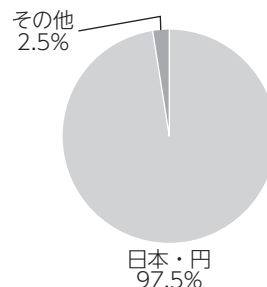
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

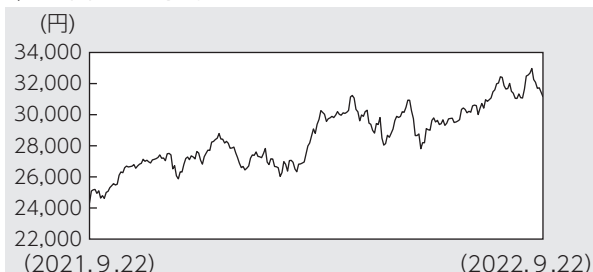
項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2022年4月22日	2022年5月23日	2022年6月22日	2022年7月22日	2022年8月22日	2022年9月22日
純資産総額	9,018,954,552円	8,363,728,990円	8,813,817,400円	9,604,324,146円	10,426,770,237円	9,893,079,307円
受益権総口数	7,151,494,210口	7,324,513,228口	7,810,273,485口	8,196,545,600口	8,365,219,810口	8,686,265,999口
1万口当たり基準価額	12,611円	11,419円	11,285円	11,718円	12,464円	11,389円

(注) 当作成期間（第103期～第108期）中における追加設定元本額は2,744,117,141円、同解約元本額は993,108,974円です。

## 組入ファンドの概要

[米国好配当株式マザーファンド]（計算期間 2021年9月23日～2022年9月22日）

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄

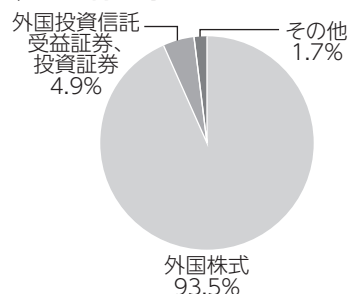
銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	6.1%
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.9
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	アメリカ・ドル	2.5
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	2.5
MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	2.5
M&T BANK CORP	アメリカ・ドル	2.5
REPUBLIC SERVICES INC	アメリカ・ドル	2.3
ELI LILLY & CO	アメリカ・ドル	2.3
UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ・ドル	2.2
EXXON MOBIL CORP	アメリカ・ドル	2.0
組入銘柄数	75銘柄	

### ◆1万口当たりの費用明細

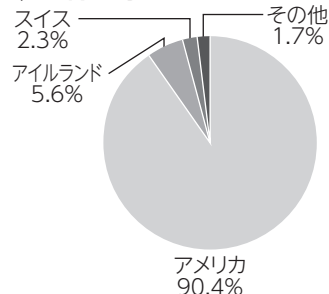
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	3円	0.009%
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	(3)	(0.009)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0	0.000
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	6	0.020
(c) その他費用 (その他)	(5)	(0.018)
(c) その他費用 (その他)	(1)	(0.002)
合計	8	0.030

期中の平均基準価額は28,596円です。

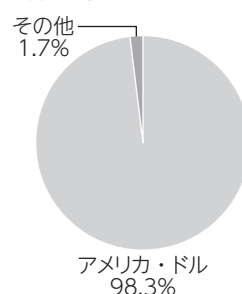
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

